

不倫人妻調教物語

杉原京子編

12



不倫人妻調教物語



杉原京子編(12)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

M女の欲望を抑えつけない京子は、本格的な調教プレイを英輔に切望。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

京子の性欲は、英輔では対応できないくらい大きなものになっていった。

また、英輔も、京子が自分以外の男たちに犯されるところを実際に観たい欲求に悩まされていた。

英輔は、以前知り合った桃園エロ子に連絡する。

エロ子は、ジジーズという高齢のエロプレイチームを英輔に紹介した。

テクニシャンな老人にイカされ続ける京子だった。

解説の視点

鞭打ちは、京子の
M女の気持ちをも
たかぶらせた。

後ろからも
犯して
もらうわよ！

あめり

チッ
チッ

しっかり、
肉便器奉仕して！

キッ

さらに肉穴奉仕
したい想いが
強くなる。

チッ

チッ

そら、大好きな
生チンコだぞ

そんな京子のおマンコに、
若林はそりたつた
ペニスを挿入した。

チン

おマンコの中の
精子が溢れ出る。

若林は激しく
腰を振った。

ペニスが膣奥まで
押し込まれ、
溜まった精子を
かき回した。

口には寅吉の
巨大なペニスが
差し込まれていた。



若林は、
細長い指を
京子のアナルに
挿入した。



アナルも
気持ちよく
してやろう



ペニスと指を、
挿入したまま
ゆつくりと
くねらせる。



ああ、
良い……

快感を味わう妻の
姿に、英輔は代え
がたい喜びを感じ
ていた。



京子の下半身に、
痺れるような
快感が走り、

愛液と小便が、緩んだ
蛇口から水が溢れる
ように流れた。

永続的に続く
快感に、京子は
震え続けた。

その姿に
英輔も震え……

はぁぁぁ……
あぁぁぁ……

何度も激しく
射精した。

ああ、嬉しい。
精子、美味しい

ペニスは勃起を
保ったまま、
精子を吐き続けた。

肉穴奉仕の
喜びを実感
する京子。



京子は、菊池のそり
立ったペニスを、
自らおマンコへと
導いた。



濡れまくったおマンコに、
するりと入る巨大ペニス。

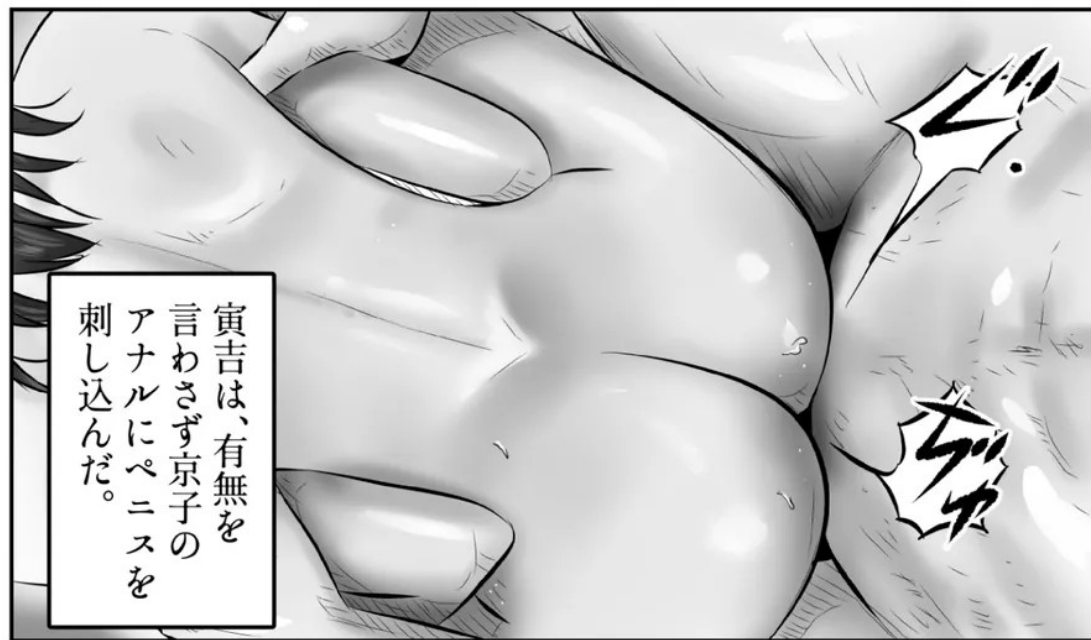


ヘソまで届く硬直
ペニスによる、



巨大な快感衝撃波が
京子を襲った。





寅吉は、有無を
言わさず京子の
アナルにペニスを
刺し込んだ。



では、私はアナル
をいただこう

は
は



下腹部に、2本の
巨大なペニスの存在を
感じる京子。

おマンコとアナルの
肉壁は、ペニスを
ずっばりと包み込み、

その熱と脈動を
京子に伝え続けた。



口が
寂しそ
うだ
な

ふ
ふ

寅吉は、激しく
腰を振った。

肛門は押し広げられ、
巨大ペニスが肉壁を
ねじり、愛撫した。

おマンコに
挿入された菊池の
ペニスも同時に、

膣内で激しく暴れ、
粘液まみれの
亀頭で子宮をこね
回していた。



英輔は、3穴を
犯される妻の姿に
興奮し続けていた。

京子は、汗と涎と
精液にまみれながら、
ペニス奉仕を続けた。

激しい性的快感と、
M女の喜びが京子を
包んでいた。





愛液と汗が噴出し、
くちゅくちゅと

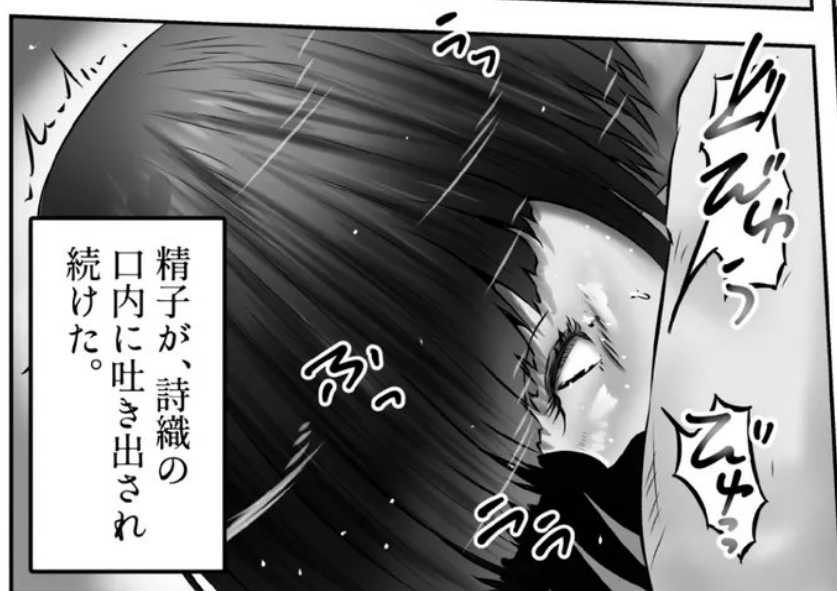
卑猥な音を
室内に響かせた。



激しく打ち付け
られるペニス。



英輔は、その妻の姿を
見て、高い性的高揚感を
感じ続けていた。



精子が、詩織の
口内に吐き出され
続けた。



一心不乱に、
全身でペニス奉仕を
する京子。

穴玩具として
扱われる喜びを、
実感していた。

京子は大人しく
控えめな性格で、



いつも英輔の影に
隠れるような
ところがあった。

そんな彼女が、
全身の肉穴を使って、
ペニス愛撫をしている。

そのギャップに、
英輔は魅力を感じた。



ペニスは勃起し
続け、精子が溢れ
続けていた。

詩織は、その精子を
残らず味わおうと
していた。



麗華は、京子に
激しい鞭打ちをした。



鞭の痛みがひくと、
ペニスの快感が
増幅するように
感じた。



京子は、鞭の痛みを
欲するように
なっていた。



打たれることで、
自分がより奉仕
肉人形になった
ように思え、

そこに自身の存在
価値を見出すような
気持ちになっていた。

大量の精子が
口内に噴出され、
独特の匂いが鼻孔
から抜けていった。

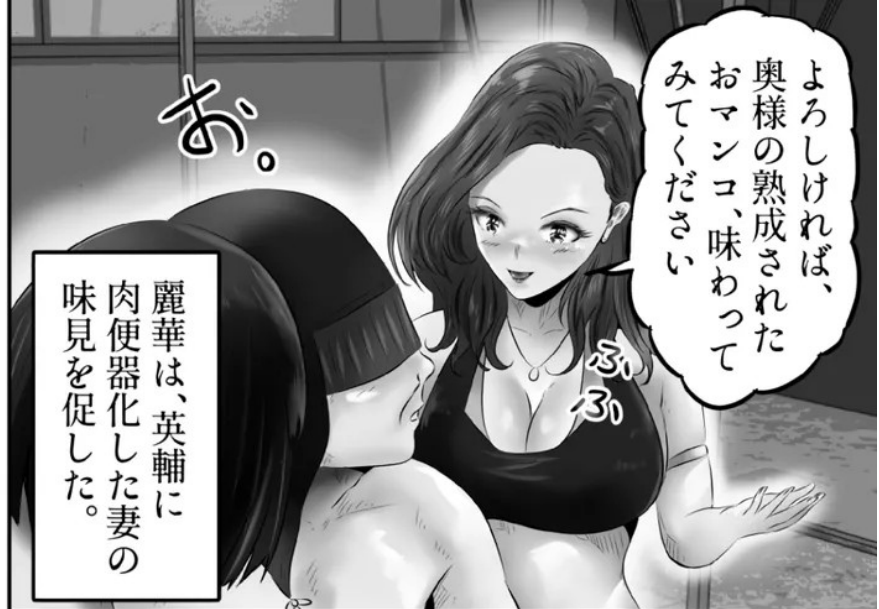
ご奉仕の
褒美だぞ！

こっちも！

寅吉は、アナルの
奥にペニスを
押し込むと、

思いきり
射精した。

菊池も、うめき声と
共に、膣奥まで
勢いよく精子を
噴出した。



不倫人妻調教物語



杉原京子編(12)



前回までのあらすじ

36歳の人妻、杉原京子(すぎはらきょうこ)はジムのインストラクターの速水良樹(はやみよしき)と不倫関係になる。

夫である杉原英輔(すぎはらえいすけ)はその事実を知り、ショックを受けたが、それ以上に妻が犯される姿を想像することで興奮する自分に驚いていた。

M女の欲望を抑えつけない京子は、本格的な調教プレイを英輔に切望。

夫婦は調教プレイで強く結ばれる。

京子の性欲は、英輔では対応できないくらい大きなものになっていった。

また、英輔も、京子が自分以外の男たちに犯されるところを実際に観たい欲求に悩まされていた。

英輔は、以前知り合った桃園エロ子に連絡する。

エロ子は、ジジーズという高齢のエロプレイチームを英輔に紹介した。

テクニシャンな老人にイカされ続ける京子だった。

京子の視点

ああ、
鞭の痛みが
心地よい……

後ろからも
犯して
もらうわよ！

あめり

チキチキ

しっかり、
肉便器奉仕して！

キッ

肉穴奉仕できる
ことに喜びを
感じちやう。

ちや

ちや

そら、大好きな
生チンコだぞ

もっと欲しい……

おマンコから、
精子が溢れる感覚が
たまらない……

チキチキ

チキ

ああっ！ 凄い！
ぐちょぐちょマンコで
おチンチンが
暴れている！

すっごい硬い
おチンチン！

ああ、精子で濡れた
おマンコ肉にすれる
のが気持ちいい！

口で奉仕できる
のも、興奮する！



さつき射精したのに、
もう大きくなってる……

はな
はな

はな

ああっ！
あっ！
来た！！

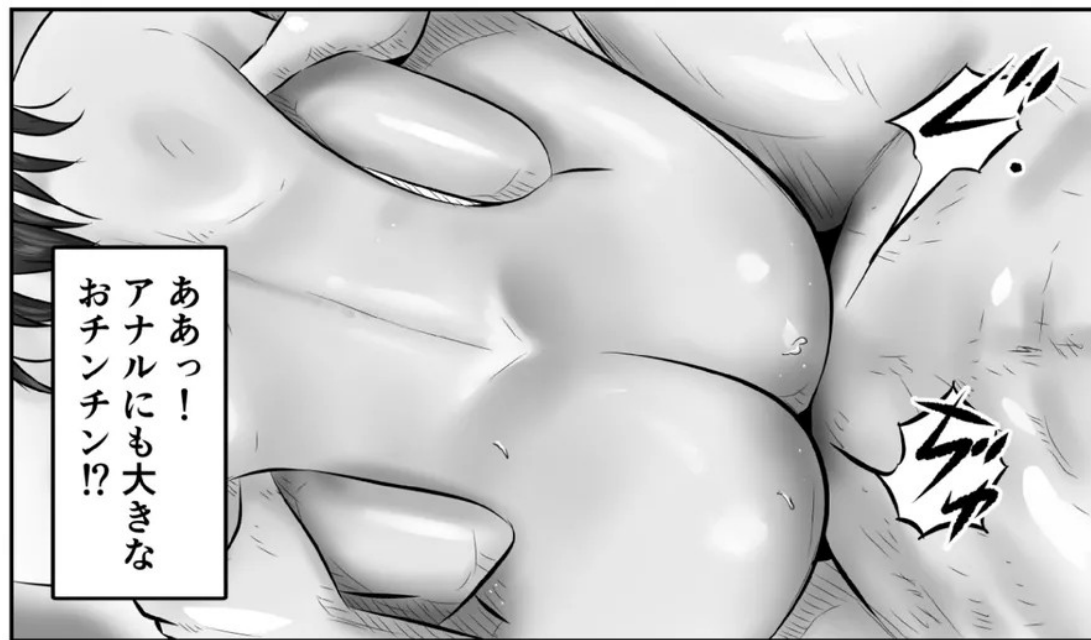
大きいっ！
大きいよっ！！

おマンコがおチンチンで
いっぱいになってる！！

あ

あ

あ



ああっ！
アナルにも大きな
おチンチン！



では、私はアナル
をいただく

は
は



お腹がおチンチンで
いっぱいになってる！

熱い！
熱いよっ！！

うわっ！ あっ！
何これ!? 凄い!!

口が
寂しそ
うだ
な

ふ
ふ

ううっ！
あっ！ 凄いい！！

熱いおチンチンが
ずんずん入ってくる！！

強引に挿入
されるの、凄く
気持ちいい！！

おマンコもアナルも
気持ち良さで震えてる！



夫に見られながらの
肉便器奉仕も感じる！

おチンチンが美味
しくてたまらない！

もっと感じて、もっと
気持ちよくなりたい！





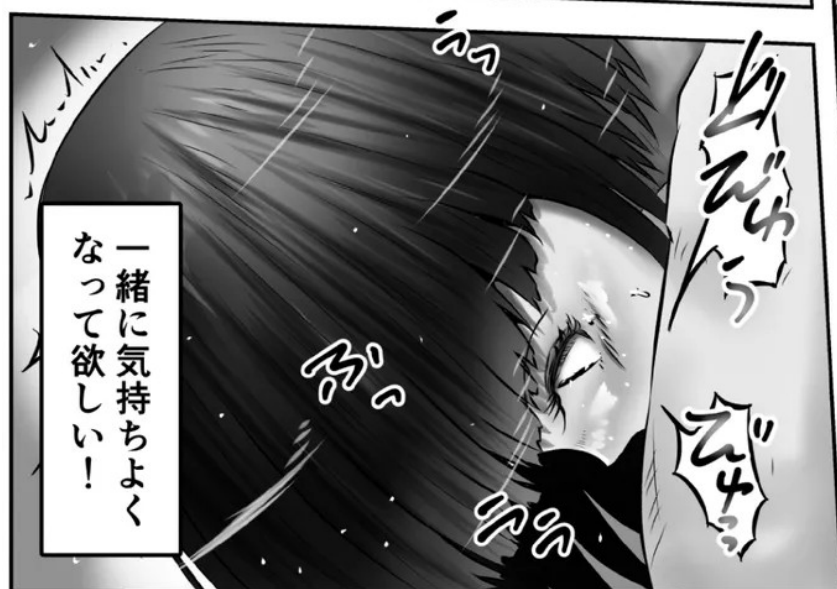
アナルもマンコも、
おチンチンで
乱暴に愛撫して!!



ああっ! そう!
強引に突っ込んで!!



ああっ!
夫にも感じて
欲しい!!



一緒に気持ちよく
なって欲しい!



私を肉穴として、
楽しんで欲しい!

おチンポを硬く
してくれると、
凄く、凄く、嬉しい!!

ああ！
体がおチンチンの
愛撫で熱くなってる！

おチンチンを
気持ちよくする為に、
働いてるのがわかる！

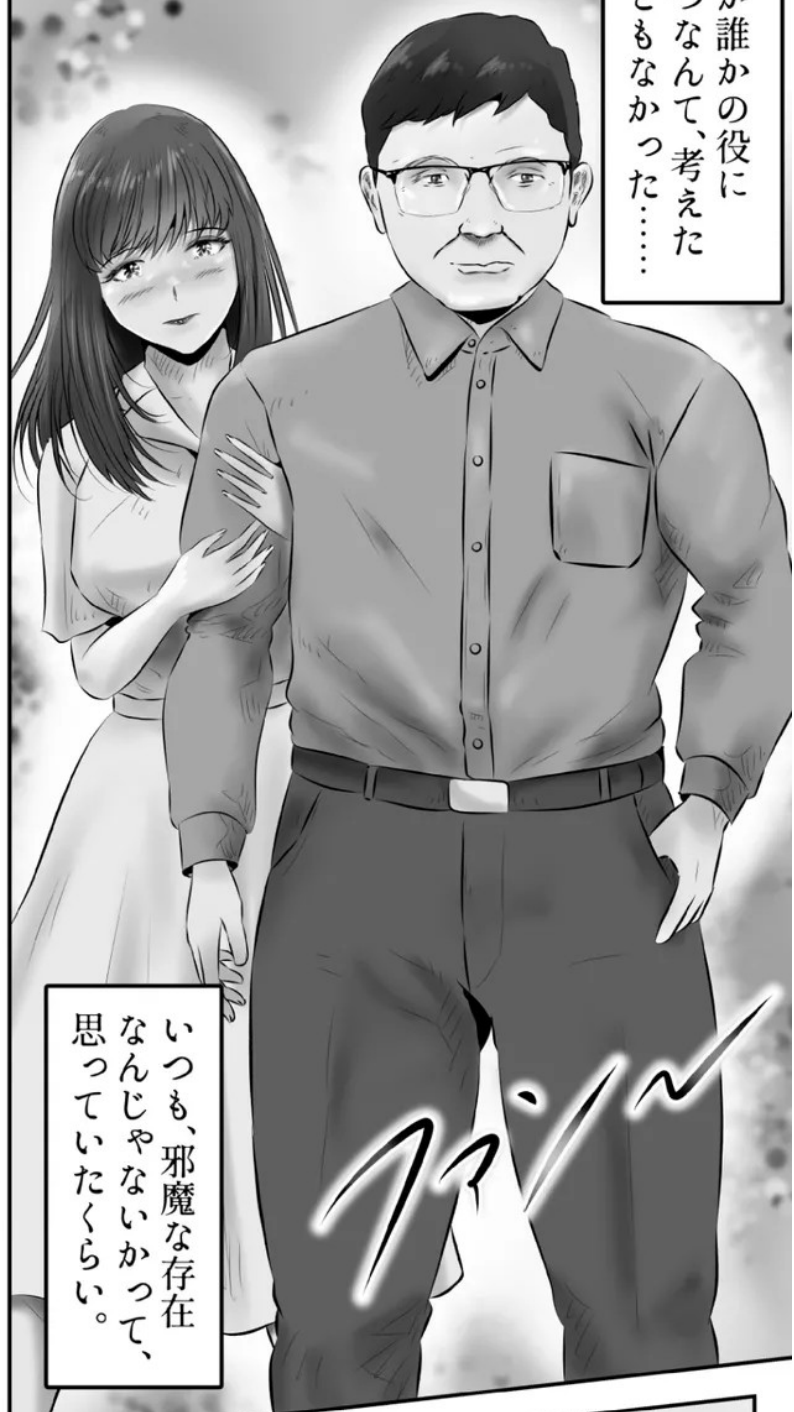
おチンチンの気持ち
よさが、私の気持ち
よさになってる！

おチンチンと
気持ちよさで
つながって、

一つになってる
ような感じがする……

凄く不思議な
感覚……

私が誰かの役に
立つなんて、考えた
こともなかった……



いつも、邪魔な存在
なんじゃないかって、
思っていたくらい。

私の体で喜んで
もらえるなんて、
不思議な感覚……

夫の為にも
頑張らないと、という
気持ちが出てくる。

それで、夫が興奮
してくれたら、
本当に嬉しい。

あくまでも、
貸し出されている、
夫の所有物で
ありたいと思う……

道具として使われる
ことに、喜びを感じる
なんて……



鞭の痛みが
嬉しい。



気持ちよさが
倍増する。



鞭で打たれる
たびに、イッてる……

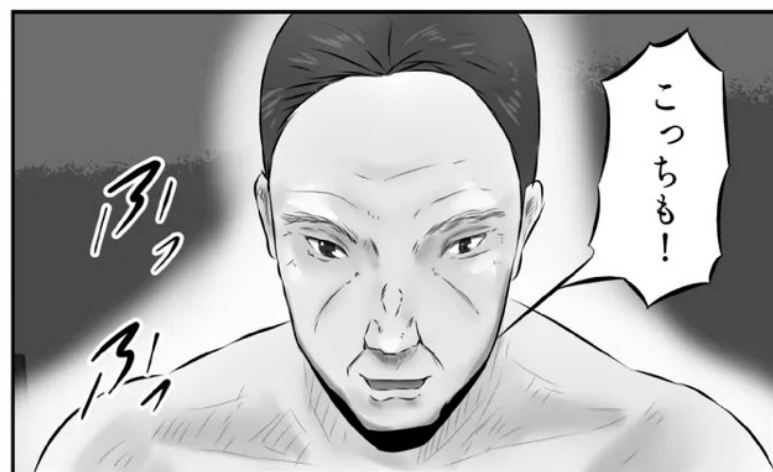
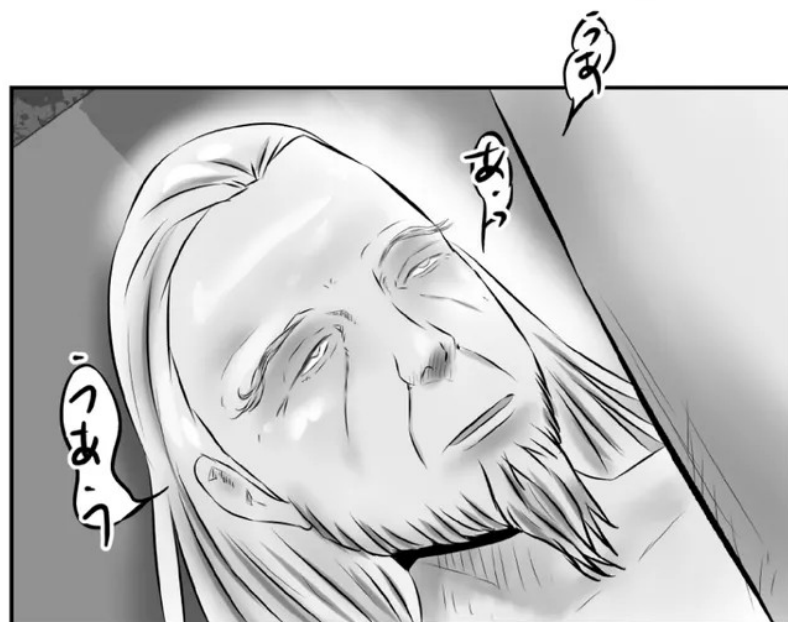
体が喜んでる
のがわかる……



うっ！ あっ！
喉の奥に大きな精子の
塊が飛んできた！



ご奉仕の
褒美だぞ！



こっちも！



ああ！ あっ！
精子の勢いで、
子宮が押し上げ
られる！



ああ、アナルにも
精子の熱を感じる！

こんなの
初めて！

